

～地域の自然と共に育む こどもたちの郷～

須崎市「おひさま保育園」

建築面積 2,162.55㎡
 延床面積 1,910.28㎡
 構造 木造平屋建て(耐火種別:その他建築物)
 保育定員 190人



夏の直射を遮り、冬の直射を受入れる軒の出設定

なかにわとデッキを介し一体利用が可能な「おひさまホール」

回廊を下屋構造としボリュームを抑え、建物の圧迫感を軽減

別棟解釈を採用し面積を1,000㎡以下に分割
 防火区画は木造の耐火構造(建設省告示第1399号)を採用
 完全な純木造園舎を実現し、工期・コスト削減及び
 今後の木造大規模建築物の可能性を示す

耐火構造棟は特性を活かした籠れる遊びスペース、
 保育空間に抑揚をつける

転んでも痛くない天然芝

こどもたちのスケールに合わせた「守られた大自然」
 周囲は一筆書きの回遊動線(回廊)で結びつけ、シンプルかつ明快に各諸室を配置する。
 「なかにわ」を介し、各保育室・職員室より視線が十分に抜ける空間構成を実現、
 こどもたちは見守られながら、思う存分「自然」の中で駆け回ることが出来る。



地域の保育・文教拠点として未来につなげる
 駐車場等の送迎スペースは、隣接する小学校と共同整備を行い
 保育園児・小学生・保護者への安全性・利便性を確保した。
 送迎スペースと接する「サンサンひろば」は地域の子育て支援
 センターとしての役割のほかに、隣接する小学校との交流施設
 として機能する。

太平洋
 須崎市街地
 多ノ郷小学校
 サンサンひろば
 保育園棟
 玄関歩廊
 風之塔(保育ホール)
 なかにわ
 耐火木造棟
 そとにわ
 指ひさまホール
 保育室棟
 駐車場

敷地鳥瞰：沿岸部から市街地までのこども達を受入れる中庭・回廊型の木造園舎

南海トラフの巨大地震に備え、浸水区域にある保育所の高台移転と、
 人口減少による保育所の統廃合計画に伴った統合保育園。
 太平洋から吹き上げる海風や、山々の緑に囲まれた豊かな自然環境を十分に取り込み
 地域の豊かな山の木・地域の職人達と共に木造園舎を作り上げた。
 燦爛と輝くお日様と自然の恵みを身体いっぱい感じながらのびのび遊ぶ子どもたち
 「地域の自然と共に育む こどもたちの郷」をこの地に創る。

